

野田総理大臣メッセージ

「第3回児童の性的搾取に反対する世界会議（2008年リオ会議）」

フォローアップセミナー

ーインターネット上の児童の性的虐待画像（児童ポルノ）根絶に向けてー

シルヴィア・スウェーデン王妃陛下の御臨席の下、在京スウェーデン大使館、日本ユニセフ協会、エクパット・スウェーデンおよびヤフー株式会社の関係者の皆様のご尽力により『「第3回児童の性的搾取に反対する世界会議（2008年リオ会議）」フォローアップセミナー ーインターネット上の児童の性的虐待画像（児童ポルノ）根絶に向けてー』が開催されますことは、大変意義深いことであり、関係各位に心より敬意を表します。

児童の性的搾取に関しては、1996年にスウェーデンで第1回目の世界会議が開催された後、2001年の横浜会議、2008年のリオデジャネイロ会議の開催を通じて、国際社会はこの問題の深刻さへの認識を深め、各国においても国内の法整備や関連施策の拡充などが進められてきました。日本も、横浜での世界会議の開催や、国内の法整備を経て「児童売買、児童買春、児童ポルノに関する児童の権利に関する条約の選択議定書」の締結など、児童の性的搾取の問題へ真摯に取り組んできました。

一方で、情報技術の発展とそのグローバル化に伴い、国境を越えての児童の権利の侵害といった課題に国際社会は直面しています。児童ポルノ画像が一度インターネットに流れてしまうと、その画像の回収は事実上不可能であり、被写体とされた児童の苦しみは将来にわたって続くこととなります。こうした憂慮すべき事態を踏まえ、日本政府は、2010年、児童ポルノを排除するための総合的な対策として「児童ポルノ排除総合対策」を策定しました。この問題の解決に向けては、取締りの強化のみでなく、児童ポルノ被害の未然防止・拡大防止、被害児童の保護・支援の充実などを図っていくことが不可欠です。我々は、国民の理解と協力を得ながら、事業者や関係団体と連携し、児童ポルノの排除に向けた取組を推進させています。

本日のフォローアップセミナーでは国内外の専門家の出席を得て、様々な取組についての有意義な意見交換が行われるものと承知しています。その成果が児童ポルノの根絶に向けた一助となることを祈念し、私のご挨拶とさせていただきます。

（了）